



## 創立二十周年記念行事 芸術鑑賞会 音楽教諭 加々良 弦



ピンカートン役を熱演した加々良先生

創立20周年記念芸術鑑賞会では大変お世話になりました。世界で活躍する、日本オペラ界の第一人者である星出豊先生の指揮のもと歌手たちによる演技、舞台美術と照明、そして観客の皆さんの力で歌劇「蝶々夫人」が上演されました。普段は観客のほとんどが音楽経験者であるなど多少の知識を持つている人たちが、あら探しをしたり、批評したりするので、高校生は全くそのような要素がなく、純粹な気持ちで見入ってくれるので、舞台上に立つ私たちのほうが感動させられました。私もこれまで幾度も舞台の経験をさせていたのですが、あのような感動に満ちた時間を過ごすことができたのは初めてでした。生徒皆さんが芸術を理解する心をもってくださるおかげです。

「蝶々夫人」を上演することが決まってからは、オペラ協会のメンバーは一年前から週1回夜に集まって練習を重ねてきました。月に2度は週末に星出先生をお迎えしての舞台稽古です。海外公演であつても、学校公演であつても常に高いプロ意識のもと、妥協のない熱く厳しい指導です。キャストは「頭では理解していても、やろうとする気持ちはあつても・・・でも役をこなさきれない」自分と戦いながら何度も涙を流しました。明誠からも生徒が賛助出演しましたが、もちろん同様に鍛えられました。

また舞台美術も、とぎつカナリーホールに合ったサイズで制作するために、それぞれの道具の設計作業から始めました。照明もあらゆる色を調合させながら、より感動の伝わる色彩を求めて何度も話し合いを重ねました。特に蝶々夫人が子どもと一緒にピンカートンを夜明けまで待つシーンは時間をかけたそうので、徹夜の連続だったと聞いています。皆さんは、舞台に掛かっていた長崎港の背景画を覚えていますか。あれはNHK大河ドラマで舞台美術を担当されていた

る川口直樹さんの作品で、今回は特別にお願いして使わせていただきました。「高校生に舞台総合芸術の素晴らしさを知っていただき、感動を分かち合ってもらえればこんな嬉しいことはない」星出先生と長崎県オペラ協会の皆さんのこのような温かい気持ちが入められた舞台でした。

また、今回の鑑賞会を実現することができたのは校長先生をはじめ、明誠高校の先生方のお陰であることも忘れてはいけません。バスの手配や寒い中、会場の駐車場の整備をしてくださったなど、君たちのために毎晩遅くまで準備をしてくださいました。

今年は創立20周年で「西海讃歌」「花いっぱい運動」など全校生徒で取り組むことがありました。いろいろと大変なこともありましたが、明誠生徒の皆さんは本当によく頑張りました。今回の芸術鑑賞会での感動もその成果の一つだと思います。

君たちのお陰で幸せな時間を過ごすことができました。本当にありがとうございました。



固唾を飲んだラストシーン！



山浦さんのピアノ演奏



講師の大町先生も出演



生徒スタッフが受付しました



すばらしい舞台でした！



(左) 蝶々夫人役の極さん (右) ススキ役の野田さん



明誠生徒も舞台上に登場！



星出先生のオペラのお話「リラックスして観て」

